

石綿排出等作業実施届出書

年 月 日

阪南市長 様

届出者 住所
氏名

印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条の7第1項(第2項)の規定により、石綿排出等作業の実施について、次のとおり届け出ます。

| | | | |
|---|---|--|------|
| 建設工事の場所 | (建設工事の名称) | | |
| 特定排出等工事を施工する者の氏名 又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名 | | | |
| 石綿排出等作業の種類 | 1 吹付け石綿、石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材又は石綿含有断熱材に係る作業 (1) 解体作業 (2) 石綿含有建築材料を掻き落とし、切断し、又は破砕すること以外の方法で除去する解体作業 (3) 石綿含有建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 (4) 改造又は補修の作業 2 石綿含有成形板に係る作業 | | |
| 石綿排出等作業の実施の期間 | 自 年 月 日 | ※整理番号 | |
| | 至 年 月 日 | ※受理年月日 | |
| 石綿含有建築材料の種類 | 1 吹付け石綿 2 石綿含有保温材 3 石綿含有耐火被覆材 4 石綿含有断熱材 5 石綿含有成形板 | ※審査結果 | |
| 石綿含有建築材料の使用箇所 | 見取図のとおり | | |
| 石綿含有建築材料の使用面積 | ㎡ | | |
| 石綿排出等作業の方法 | 別紙1のとおり | | |
| 石綿の濃度の測定計画 | 別紙2のとおり | | |
| 参 考 事 項 | 石綿排出等作業の対象となる建築物等の概要 | 耐火建築物・準耐火建築物 その他の建築物・その他の施設 延べ面積 ㎡ (階建) | ※備 考 |
| | 特定排出等工事を施工する者の現場責任者の氏名及び連絡場所 | 電話番号 | |
| | 下請負人が石綿排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所 | 電話番号 | |

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 氏名(法人にあっては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
 - 参考事項の欄に掲げる事項は、必須の記載事項ではないが、同欄に所定の事項を記載した場合は、同欄をもって、大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則第16条の15第2項第2号に規定する事項のうち石綿排出等作業の対象となる建築物等の概要及び同項第4号及び第5号に規定する事項を記載した書類とみなす。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 石綿排出等作業の対象となる建築物等の部分の見取図を添付すること。見取図は、主要寸法及び石綿含有建築材料の使用箇所を記入すること。

石綿排出等作業の方法

| | | | |
|----------------------------------|----------------------------|--------------------------------|----------------|
| 石綿含有建築材料の種類及び使用面積 | | 1 吹付け石綿 …………… | m ² |
| | | 2 石綿含有保温材 …………… | m ² |
| | | 3 石綿含有耐火被覆材 …… | m ² |
| | | 4 石綿含有断熱材 …………… | m ² |
| | | 5 石綿含有成形板 …………… | m ² |
| 石綿排出等作業の期間 | | 年 月 日 ～ 年 月 日 | |
| 石綿含有建築材料の処理方法 | | 除 去 ・ 囲い込み ・ 封じ込め ・ その他 () | |
| 集 じん ・ 排 気 装 置 | 種類・形式・設置数 | | |
| | 排気能力 (m ³ /min) | (1時間当たりの換気回数 回) | |
| | 使用するフィルタの種類及びその集じん効率 (%) | | |
| 使用する資材及びその種類 | | | |
| その他の石綿の排出又は飛散の抑制方法 | | | |
| の 排 処 出 理 水 | 措置の内容 | | |
| | 処理装置の設置場所 | 見取図のとおり | |
| 掲 示 板 | 設置予定年月日 | 年 月 日 | |
| | 設置場所 | 見取図のとおり | |

- 備考 1 この様式は、石綿排出等作業ごとに作成すること。
 2 使用する資材及びその種類の欄には、湿潤剤・固化剤等の薬液、隔離用のシート・接着テープ等の石綿排出等作業に使用する資材及びその種類を記載すること。
 3 その他の石綿の排出又は飛散の抑制方法の欄には、大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第9の2第1号の表各項下欄に規定する「同等以上の効果を有する措置」の内容、散水の方法、囲い込み又は封じ込めの方法等を記載すること。
 4 措置の内容の欄には、措置の方法、処理装置の能力及び効率並びに散水量の最大値を記入すること。
 5 作業場を隔離する場合は、作業場の隔離状況及び前室の設置状況を示す見取図を添付すること。見取図は、主要寸法、隔離された作業場の容量 (m³) 並びに集じん・排気装置の設置場所及び排気口の位置を記入すること。
 6 大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第9の2第1号の表に規定する排出水処理するための装置の設置場所及び同規則別表第9の2第2号の表に規定する掲示板の設置場所を示す見取図を添付すること。

大気中の石綿の濃度の測定計画

| | | |
|-------------|-----------------------|---|
| 石綿排出等作業の開始前 | 測定実施予定年月日 | 年 月 日 |
| | 測定の場所 | 見取図のとおり |
| 石綿排出等作業の期間中 | 石綿排出等作業の場所及び測定実施予定年月日 | 石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 月 日 ~ 月 日 (日) ----- 年 月 日 |
| | | 石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 月 日 ~ 月 日 (日) ----- 年 月 日 |
| | | 石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 月 日 ~ 月 日 (日) ----- 年 月 日 |
| | 測定の場所 | 見取図のとおり |
| 石綿排出等作業の完了後 | 測定実施予定年月日 | 年 月 日 |
| | 測定の場所 | 見取図のとおり |

- 備考 1 「石綿排出等作業の場所」には、当該石綿排出等作業の場所を特定するための一連の記号を付すとともに、見取図には、石綿排出等作業の場所を当該記号を使用して示すこと。
- 2 石綿排出等作業の期間中の欄で、測定の対象となる石綿排出等作業の場所が4箇所以上となる場合は、記入欄を増加させること。また、2回以上測定を行わなければならない場合には、測定実施予定年月日をすべて記入すること。
- 3 大気中の石綿の濃度の測定の場所を示す見取図を添付すること。